

## 1 単元名「なるほどニュースを紹介しよう」 教材名「新聞を読もう」

## 2 単元の目標

- ・情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。〔知識及び技能〕(2)イ
- ・記事を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(3)オ
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで新聞を読み、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

## 3 指導事項に合致した言語活動とその特徴

指導事項に合致した言語活動として「様々な新聞記事を読み比べ、心に残ったなるほどニュースを紹介する活動」を位置付けた。新聞記事を読むには、記事の大小や見出し、リードといった構成を理解する必要がある。様々な記事を読み比べるには、世間への関心や自分の興味関心をもとに、書いてある事実とそれに対する自分の考え、選んだ理由を明確にする必要がある。これらの特徴から、この言語活動を位置付けた学習活動を展開することで「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる」という目標を達成できる。

## 4 単元について

## (1) 教材観

高学年になり、見たいテレビ番組を探したり、好きなスポーツの記事を読んだり、関心のある記事を読むようになる児童が増えてくる。新聞とのふれあいが始まる時期に、新聞の編集の仕方や記事の書き方に注意して読むことをねらったのが、本教材である。現代では、紙の新聞よりもコンピュータやスマートフォンを用いてニュースサイトにアクセスして情報を得ることのほうが多くなっている。しかし、ウェブサイトにも見出しや写真が効果的に使われている。編集の仕方や記事の書き方に注意して読む力が必要であることに変わりはない。

情報と情報との関係の仕方については、3年生と4年生で写真の読み取り方を学習し、4年生で写真や図表を効果的に使いながら新聞を作る学習を経験している。

本単元では、まず教科書教材を使って新聞の特長や記事の構成などを学び、新聞を読む視点を養わせたい。そして、一般紙や小学生新聞を複数読み比べ、自分が紹介したい記事を選べるようにする。

## (2) 児童の実態

「読むこと」の意識調査の考察や、記述することについての実態調査は、省略させていただきます。

## (3) 指導観

本単元では、様々な新聞記事を読み比べ、「なるほどニュース」を紹介する言語活動を行う。

「なるほどニュース」とは、読んで **・なるほどと思った記事**・**初めて知って驚いた記事**・**友達や家族に紹介したい記事**、とする。なぜなるほどニュースにしたかという、新聞やニュースに対してネガティブなニュースや堅苦しいイメージが強い児童に、意欲を持って取り組めるようにするため、新聞を読んで新しい知識や興味を持ってもらうため、その記事を紹介してみたいと思うようにするためである。

本校は今年度、NIE教育の実践指定を受け、新聞にふれやすい環境となった。5月は小学生新聞が3社、千葉日報や日経新聞、朝日新聞などが毎日(週1もあり)届く。毎週金曜日を「NIEタイム」として新聞に親しむ活動を行っている。並行学習として、小学生新聞から教師が記事を選び、それを読んで感想や考えたことをワークシートに書くことにする。

単元の最初には教師が作成したなるほどニューススクラップブックを例示し、自分で作成していくことを伝え、単元の見通しを持たせるために学習計画を立てる。

毎時間の最初には、新聞を用いて言葉探し(国名、人名など)を取り入れ、新聞に慣れ親しめるようにする。

第一次は教科書教材を使って新聞の特長や記事の構成、見出しのつけ方などを学ぶ。新聞をとっていない家庭が多い実態から、実際に一人一部新聞(一般紙)を手にとって触れさせ、見出しやリード文の確認、様々な記事があることを理解できるようにする。また、全国紙や地方紙を読み比べて記事の扱いや見出しのつけかたの違いなどにも着目できるようにする。

第二次では、様々な新聞記事を読んでスクラップブックを作成する。新聞の選定として、一般紙(朝日新聞や千葉日報など)だけでなく、取り組みやすいように小学生新聞から選んでもよいことにする。記事を選ぶ際の視点を明確にし、社会や理科で学習したことに関連する記事を探すなど、他教科の学びにもつながるような声かけもしていく。

スクラップブックづくりについては、一人一台端末のカメラ機能を使い、コラボノートのワークシートにためていくやり方にする。そうすることで、記事を切って新聞がバラバラになったり、

他の児童がその記事を読めなくなったりすることのないようにする。ただし、タブレット操作が苦手な児童もいることから、記事をコピーして手書きで書くことも認める。

黙々と記事を選び、記録するだけでなく、その記事についてペアやグループで話し合う活動を取り入れ、興味・関心を広げたり、考えを伝えたりできるようにする。また、実態として児童の語彙が少ないことや、新聞には難しい言葉も多く使われていることから、すぐ調べられるように国語辞典や漢字辞典を教室に置いてすぐ手に取れるようにする。

第三次では、作成したスクラップブックから、自分が一番紹介したい「なるほどニュース」を紹介する活動を行う。複数選んだ記事から、その記事に書いてあること、考えたことや得られたこと、なぜその記事を選んだのか理由も含めてワークシートにまとめる。そしてグループや全体で発表し、話し合う活動を行う。

単元の最後には、作成したスクラップブックを印刷して手元に残るようにする。単元を通してふりかえりを毎時書かせて、考えたことや身に付けたことをメタ認知できるようにする。

この単元だけで終わらせるのではなく、スクラップブックづくりは続け、長期的に新聞に慣れ親しみ、知識や興味関心を広げられるようにしていきたい。

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解している。 ( (2) イ)	①「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、記事全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (C (1) ア) ②「読むこと」において記事を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C (3) オ)	① 進んで新聞記事を読み比べ、調べた記事について伝え合おうとしている。

## 6 指導と評価の計画 (7時間扱い)

学習過程	時間	学習内容・学習活動	評価規準・評価方法等
一次 (見いだす)	1	・教師が作成したなるほどニューススクラップブックを示す。 ・新聞について知っていることやイメージを話し合い、その仕組みや内容に関心を持たせる。 ・学習計画を立て、単元の見通しを持たせる。	
(自分で 取り組む)	2	・新聞の特長や記事の構成、用語について理解する。(教科書・一般紙)	[知識・技能] ① <ノート・新聞書き込み・発言等>
	3	・同じ出来事を扱った新聞記事を読み比べ、内容や見出し、写真などについて気付いたことを話し合う。(教科書・一般紙)	[思考・判断・表現] ① <ノート・新聞書き込み・発言>

二次  (広げ 深める)	4  5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な新聞を読み比べ、なるほどニューススクラップブックを作成する。 (一般紙、小学生新聞)</li> <li>・並行学習で朝学習の時間を活用してなるほどニュース集めをする。</li> </ul>	[主体的に学習に取り組む態度] ① <グループトーク・発言・スクラップブック・コラボノート>
三次  (まとめ あげる)	6 本時  7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したスクラップブックから、一番紹介したいなるほどニュースについてワークシートにまとめ、紹介し合う。</li> <li>・スクラップブックをまとめあげ、単元をふりかえる。</li> </ul>	[思考・判断・表現] ② <スクラップブック・ワークシート・コラボノート・発言等>

## 7 本時の指導 (6/7)

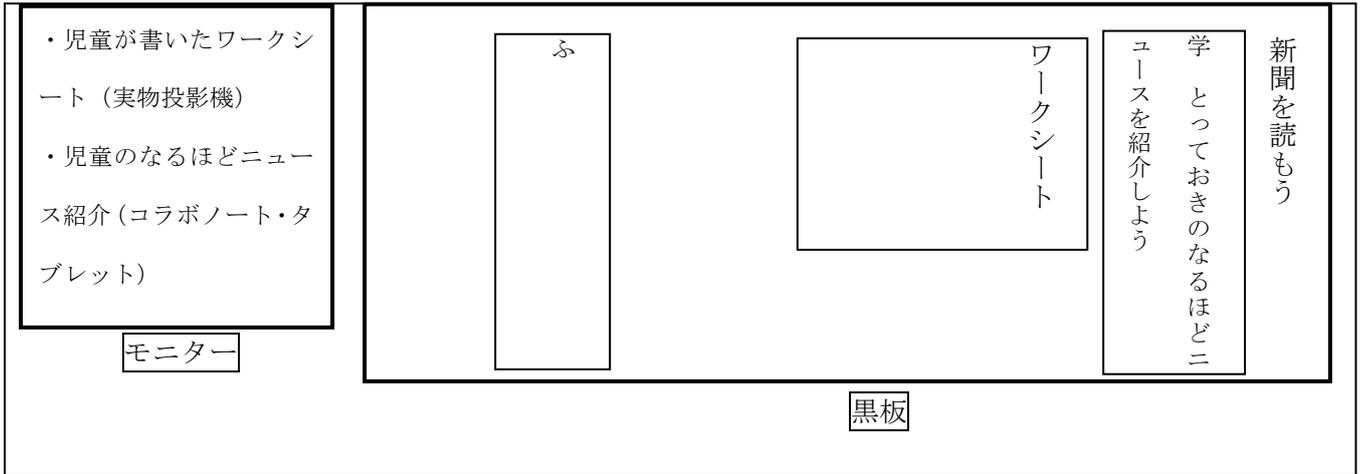
### (1) 本時の目標

- ・複数の記事から、紹介したいニュースを選び、理由とともに自分の考えをまとめることができる。  
 [思考力、判断力、表現力等] C (3) オ

### (2) 展開

過程 時配	学習内容と学習活動	指導・支援 (○) と評価 (◇)	備考
導入 (見い だす) 5分	1 新聞を用いて言葉探しゲームをする。 2 本時の課題をつかむ。	○新聞に慣れ親しみ、語彙を獲得するために、楽しんで活動できるようにする。 ○前回までの学習をふりかえり、学習問題について、興味をもてるようにする。	新聞  タブレット スクラップ ブック(コラ ボノート)
とっておきのなるほどニュースを紹介しよう。			
展開 (自分で 取り組む) 15分	3 集めた記事の中から、一番自分が紹介したい記事を選ぶ。 4 なるほどニュースを紹介するワークシートを書く。 ・記事の内容 ・考えたこと ・選んだ理由	○次の活動にスムーズに結びつけるように、なるほどニュースの基準を再確認し、選びやすいようにする。 ○ワークシートの書き方について、全体で確認してから取り組ませる。 ○つまずいている児童には、なぜその記事を選んだのか、どんな内容が書いてあるのかを確認しながら助言する。 ○途中でよく書けている児童のワークシートを紹介し、つまずいている児童への参考にさせる。 ○早く書けた児童は、ワークシートを読み合うようにさせる。	ワークシート  実物投影機
(広げ 深める) 20分	5 なるほどニュースを紹介する。 グループ→全体	○グループでなるほどニュースを紹介し合い、内容について質問したり、感想を伝え合ったりさせる。 ○書き終わらなかった児童は、書けたところまで紹介するように助言する。 ○よく書けている数名のなるほどニュースを選び、全体で紹介し、話し合う。 ○時間を見て、感想や考えを発表させる。 ◇複数の記事から、紹介したいニュースを選び、理由とともに自分の考えをまとめている。 [思考・判断・表現] <ワークシート・発表・スクラップブック>	タブレット ワークシート  大型テレビ タブレット
まとめ (まとめ あげる) 5分	6 まとめをする。 ・本時の学習を振り返る。 7 次回の予告をする。	○本時の学習を通して学んだことや考えたことをもとに、振り返りを書く。  ○作成したスクラップブックやワークシートを印刷し、まとめることを予告し、次回への意欲を高める。	学習計画表 振り返り シート

(3) 板書計画 (ICT 機器活用も含む)



(4) 評価

Aと判断する状況の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの記入がよく書けている。</li> <li>・記事の内容の要旨がまとまっている。</li> <li>・理由が明確に書かれている。</li> <li>・記事についての自分の考えが書けている。</li> <li>・かつ、話し合いでも積極的に紹介したり感想を述べたりしている。</li> </ul>
Bと判断する状況の例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートの記入ができています。</li> <li>・項目のいずれかに多少の不備があってもよい。</li> </ul>
Cと判断する状況と手立ての例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートが書けない。</li> <li>・手立てとして、項目を一つ一つ確認して助言する。</li> <li>・終わらなかった場合は、休み時間などを活用して記入をサポートする。</li> </ul>